

事業概要：大野城市シティプロモーションアクションプランに基づくシティプロモーション事業

申請者	福岡県大野城市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,893千円 (5,217千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	豊かな生活環境
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ChatGPT等の生成AIの普及などにより、新しい働き方など人々の価値観や行動様式の変容が見られることから、社会事情をふまえた人口減少克服の取組を進め、次代を担う世代の定住人口の確保とまちの活力を維持していく。 本市では転入超過率が福岡都市圏の自治体と比較して高いことから、地域の中で人の入れ替わりが急速に起こっており、地域活動を支える担い手の高齢化や固定化が懸念されているため、居住地を問わず地域を支える関係人口を創出する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR8年度事業費</small>	<p>【事業概要】 本市の魅力効果を効果的に発信し、愛着と関係人口を育むため、三つの取組を展開する。第一に、地域資源や住みやすさを可視化したブランディングサイトや動画、冊子を制作し、「住んでみたい・子育てしたい」と感じてもらうことで定住促進の好循環を生み出す。第二に、住民と共に魅力の掘り起こしやコンテンツ制作に取り組み、発見や再発見を通じて「心のふるさと・大野城」への愛着を深める。第三に、キャラクター等を通じ市内外の人をつなぎ、継続的な交流の場を整えることで、関係人口の創出とまちとの持続的な関わりにつなげていく。</p>					<p>関係人口</p> <p>新しい人に紹介する</p> <p>階段を上がることに関心・関与の度合いが増える</p> <p>住む・関わる</p> <p>来る・好きになる</p> <p>知る</p> <p>人と人のつながりがあることで住みたい街・住み続けたい街になる</p> <p>移住・定住</p>	
	<p>【ソフト事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングサイト、プロモーション動画、プロモーション冊子の制作、運営保守（委託料）2,277千円 ・ホームページの制作、運営保守（委託料）2,940千円 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 転入超過率（＝転入者数÷転出者数）（+15%） ② プロモーション動画の再生回数（+5,400回） ③ 若年層（15～34歳）の住民参加型ワークショップ参加者数（+40人） 					URL	https://my-onojo.jp/ https://www.city.onojo.fukuoka.jp/s002/010/010/020/5803.html
						<small>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</small>	